



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名 株式会社IPS
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号：4390 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部次長 赤津 博康
(TEL. 03-3549-7719)

剰余金の配当（増配）および配当政策の基本方針変更並びに
2023年3月期配当予想に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当および配当政策の基本方針の変更について下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。剰余金の配当については、2022年6月28日開催予定の第31回定時株主総会に付議する予定です。

また、2023年3月期の配当予想についても決定しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月14日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	25円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	310百万円	-	123百万円
効力発生日	2022年6月29日	-	2021年6月25日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(注) 2021年3月期期末配当金の内訳 記念配当10円00銭

(2) 理由

2022年3月期通期連結業績を踏まえ、株主への利益還元、当社内部留保および投資計画などを総合的に勘案し、前回発表において10円00銭としておりました期末配当予想を25円00銭といたします。

2. 配当政策の基本方針変更

(1) 内容

変更前	当社は、株主への還元につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保することを主題におきつつも、十分な剰余金があるときは、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。
変更後	当社は、株主への還元につきましては、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の確保を図りながら、達成した業績を反映した適切な配当を、継続して実施していくことを基本方針といたします。

(2) 理由

当社は現在成長過程にあり、事業の継続的な拡大発展を目指すため、経営基盤の充実に向けた財務体質の強化及び内部留保の充実が重要であると考えてきました。2021年3月期は、記念配当による初めての剰余金の配当を実現しました。2022年5月13日開催の取締役会において、業績の拡大に伴い、株主への業績の還元策として毎年の配当継続を目指すことにしました。そこで、この考えを配当政策の基本方針に明確に織り込むために上記の変更を行います。

3. 2023年3月期の配当予想

本日公表した決算短信に記載の2023年3月期の連結業績予想等を踏まえ、年間配当金は一株当たり35円（当期から10円の増配）とすることを予定しております。また、株主還元の機会を充実させるために、今期から中間配当を実施することといたします。

(参考)年間配当の内訳

基準日	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2023年3月期予想	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2022年3月期実績	—	25円00銭	25円00銭

以上